

令和３年 第１決算審査特別委員会討論要旨

◎ 会 派 清 新

会派清新を代表し、第１決算審査特別委員会に付託されました認定第１号「令和２年度滝川市一般会計歳入歳出決算」を可とする立場で討論いたします。

まさに日本の国難とも言える新型コロナウイルス感染拡大の現状において全国の地方自治体が運営面での苦慮されている中、たゆまぬ行財政改革を推進され創意工夫で様々な対応に当たられている、前田市長をはじめ市理事者、関係職員の皆様のご努力に心から敬意を表します。

以下に数点意見を付します。歳出では概ね適切な執行と判断しておりますが、冒頭触れましたコロナ禍での市独自の「各種経済対策」や「ひとり親家庭への支援策」について、限られた自主財源での執行が評価されるべきと考えます。

自治体の事業と位置づけがなされた「新型コロナワクチン接種事業」では、令和３年度から本格接種となりましたが、その前段階での様々な準備に大変なご苦勞があったことと推察いたします。本市の行政事務や付随する業務遂行に対する職員数は限られており、ワクチン接種本部との兼務発令、そこに起因する各所管の負担を考えると、感染症対策や災害対応等の有事にそなえた職員配置を再考する必要があるのではないかと思います。また電話や窓口での苦情対応での心神喪失は容易に想像され、担当職員のメンタルヘルスに十分配慮されることを望みます。

また、教育現場においては、変異ウイルス影響での感染拡大が懸念される中、大変なご苦勞があるものと思われしますが、今後も考えうる更なる対策を講じていただくようお願い申し上げます。

歳入については、歳出でも触れました「ワクチン接種」において、関連する事業費について全額国庫負担とする政府方針に基づき、確実に履行されることが重要と考えます。令和２年度決算ベースでは、歳入確保がなされたとの説明を受けておりますが、今後は関連経費の線引きが極めて難しいケースも想定できますので、ご対応のほど重ねてお願い申し上げます。

以上を申し上げまして、賛成討論といたします。

◎ 新 政 会

新政会を代表致しまして、第１決算審査特別委員会に付託されました認定第１号「令和２年度滝川市一般会計歳入歳出決算」を可とする立場で討論いたします。

令和２年度は厳しい財政状況を鑑み、持続可能な財政基盤を築くために策定された「滝川市第２期財政健全化計画」を推進する初年度であり、将来都市像を実現するための事業の実施のほか事務・事業の効率化を図り、更に新型コロナウイルス感染症の影響により、平時ではない難しい状況が続く中、創意工夫により市民の為に市政運営に努力された、市長をはじめとする理事者並びに職員の皆様に心より敬意を表します。

厳しい財政状況の中、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制約を余儀なくされる中、ふるさと納税の積極的な推進により財源確保の努力もされ一般会計で９億４,６０８万円の剰余を生じた事は高く評価致します。

以下、若干の意見を付します。

民生費

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の受診・検診控えと障がい者や高齢者の閉じこもり

傾向が見られ、心身機能の低下に対する影響が懸念されます。今年度以降影響が出ていないか更に注視し工夫を凝らした対策をして頂きたい。

教育費

GIGA スクールについてはスムーズな推進の為教員への研修の充実を図って頂きたい。

以上を申し上げまして賛成討論と致します。

◎ 会 派 み ど り

会派みどりを代表して、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号令和2年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で、以下若干の要望意見を付して討論といたします。

令和2年度は前年度から続いている新型コロナウイルス感染症の全国的まん延が発生し本市の財政運営が未曾有の厳しさがある中で財政健全化計画の初年度として、その計画に沿って各事業の見直しや財源確保を念頭に努力され、一般会計で約9億円余りの黒字決算をされた市理事者・職員みなさに敬意を表します。

(歳入)

ふるさと納税は順調に伸びております。社会変化に応じた、新しい試みなどを心掛けて更なる財源確保検討されたい。また、経費削減を図り特定基金として活用を図るよう要望します。未収金の回収については、市税徴収員の増を図ることを要望します。

(歳出)

2 款・総務費

市民からの要望等については、可能な限り検討し市政に生かす努力を願いたい。また、危険な空き家対策については、市民生活の安全・安心を第一に代執行などを積極的に実施されたい。

3 款・民生費

コロナウイルスの中、ワクチン接種の接種率の向上を図り、安全・安心で効率的な運営に心掛けていただきたい。

7 款・商工費

市内商工農業者に対して、使いやすくするために更なる様々な支援制度を新たに設計されたい。

9 款・消防費

災害に強い滝川市を作るために備蓄品の増強並びに避難施設のソーシャルディスタンスも念頭に対応を図られたい。

10 款・教育費

中学校の統合に当たり、入念な打ち合わせを行いよりスムーズな移行ができるよう最善化の準備を図られたい。

以上、会派みどりの討論といたします。

◎ 公 明 党

私は、公明党を代表し、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号「令和2年度滝川市一般会計歳入歳出決算」を賛成の立場で討論致します。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に全力で取り組まざるをえない1年でありました。

このことにより持続可能な財政基盤を築くために策定された「滝川市第2期財政健全化計画」の当初予定期間の7年間で10年間とする修正変更を行うことになりましたが、この間の職員、理事者、医療

に携わる皆様のご苦勞とご努力に敬意を表します。

コロナ禍での行政運営は、様々な制約下におかれ、予定していたことが急遽、変更となることもあったかと思います。

私は、このような中で、一定の成果をあげた令和2年度の決算を評価し賛成討論といたします。

◎ 寄谷 猛男

私は、日本共産党を代表し、令和3年第1決算審査特別委員会に付託された令和2年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で討論を行います。

令和2年度は、持続可能な財政基盤を築くために策定された「滝川市第2期財政健全化計画」を推進する初年度でしたが、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中でのスタートとなりました。未知で見えない敵とのたたかいのなか、十分な補償もなく自粛を迫られる市民のくらし・生業を第一に行政執行に当たられた市長、理事者、職員の皆様に敬意を表します。以下、若干の意見を付して討論といたします。

総括について 一般会計で9億4,608万円の剰余を生じたことは、歳入では市税で引き続き収納率の向上に努めたほか、ふるさと納税の積極的な推進により財源の確保に努力したこと、歳出では、施策展開を効果的かつ重点的に進めてきたところと評価したい。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため度々、公共施設を閉鎖したこと、市民が楽しみにしていたイベントを中止ないし縮小せざるをえなかったことによる市民生活への影響は少なくない。

2款・総務費について 感染防止のため未だ人が集まりにくい状況にあるが、職員研修など人材育成に重要なものは代替手段を含め積極的に取り組み行政サービスの向上に努めていただきたい。

3款・民生費について 新たに非課税世帯の小学生の通院に対する助成が実現したことを高く評価したい。体力的に病気にかかりやすい年齢の子どもが、等しく心身ともに健やかに成長できるよう助成対象の更なる拡大に取り組んでいただきたい。また保育所の職員の充実に取り組んでいただきたい。定員の120%まで受入れ可能とのことだが、一人ひとりの子供たちに目が行き届き保護者が安心して託せる保育所づくりを目指していただきたい。

7款・商工費について 事業者はコロナ禍で大きな影響を受けている。新規事業を含めさらに地域事業の振興に取り組んでいただきたい。

8款・土木費について 街路樹の生い茂る枝葉は道路の視界を妨げ、枝に積った雪は落ちると危険。住民の安全を守るために迅速に剪定できる体制を組むなどさらなる改善を望む。

10款・教育費について 一人ひとりの児童生徒に応じた教育が求められています。長期欠席にある児童生徒への切れ目のない支援をさらに進めていただきたい。また、学びの際に発生している事故数は少なくはありません。児童生徒の安全・安心のために、事故原因を分析し安全対策を着実に進めていただきたい。

以上、日本共産党の討論といたします。